学校だより

温故知新

恵那市立岩邑中学校

学校の教育目標

確かな学力 豊かな心 逞しい体

令和4年12月1日

『 努力とは人生そのもの？ 』

校長 丸山 成之

12月になりました。2022年も終わりに近づき、区切りの時期となります。これまでの自分の取組（学習・生活）を見直し、卒業・進級に向けて改善していきましょう。

ところで、みなさんは努力をしていますか？

まだできていない目標に向けて、私たちは努力をします。努力を毎日少しずつ積み重ねて目標に近づこうとします。努力した結果がうまくいって、

「努力の甲斐があった」

そんなうれしい結果が出れば、これが一番よいのです。

ところが残念なことに、努力というのは、いつまで続ければ結果が出るのかがわからないことがあります。明日なのか、3ヵ月後なのか、もしかすると1年後かも…。

周りの人はもちろん、取り組んでいる自分でさえも、ゴールがいつになるのかがわからないのです。そのうえ、せっかく努力してできるようになっても、努力をやめてしまうとまた元に戻ったりもします。

もっと残念なのは、よい結果が出て終わるとは限らないことです。

「あれだけ一生懸命にやったのに…」

半分くらいしか目標に達していなかった。全然ダメだった。人生はなかなかうまくいかないものです。

「じゃあ、やめる！」

みなさんはたいへんだから、無駄だからといって努力をやめますか？

「今のままの自分でよい」と思っているのは、「自分のもっているよさ」を伸ばすことはできません。ところが、努力をした経験があると、その時は結果が出せなくても、別の思いもしないところで、無駄だと思っていた努力を生かすことができます。自分のよさを伸ばすことにつながるのです。これも人生の面白いところです。

【努力とは人生そのもの】

ちょっと大げさでしょうか。

こう考えると、【努力は学校生活を楽しむためにより刺激を与えてくれるもの】なのかもしれません。